2023年事業報告

月	日	事 業 名	内　容	場　所
1		スイムセッションin郡山	女子委員会	郡山開成山プール
1		福島県スイム強化合宿	強化委員会	福島県楢葉町　Jヴィレッジ
2	4	FTA会員総会	事業報告他	いわき市
2		冬季合宿（成人）2/14～2/21	強化委員会	福島県楢葉町　Jヴィレッジ
2	12	トライアスロン（J-STAR）専門測定/体験会	2023/東北・福島	福島県楢葉町　Jヴィレッジ
2	26	JTU公認審判員新規・更新講習会	第二･三種の新規および更新講習会	福島市市民会館
3		スイムセッションin郡山	女子委員会	郡山開成山プール
3	4	JTU東北ブロック協議会合同会議	大会日程調整等	宮城県仙台市
3	26-29	北海道東北リージョン強化合宿	2023年3月/福島県楢葉町	福島県楢葉町　Jヴィレッジ
4	9	技術審判委員会	審判長・審判員選任他	郡山ユラックス熱海
4･5		トライアスロンスイム練習会　計5回	女子委員会	郡山開成山プール
~~5~~		~~スポーツキッズ発掘テスト　予定~~	~~5～6月　日　計5回~~	~~福島県スポーツ協会主催~~
5	3-6	北海道東北リージョン強化合宿	2023年5月/福島県猪苗代町	福島県 猪苗代町
5	5	第1回オーシャンスイムクリニック	女子委員会	薄磯海水浴場
5	21	福島シティーハーフマラソン	後送者を自転車で伴走	福島県 福島市
6	4	第1回ジュニアトライアスロン教室	普及活動	川内村　もりたろうプール
6	11	JTUドラフティング講習会	あづま総合運動公園	福島県 福島市
~~6~~	~~18~~	~~みなと酒田トライアスロンおしんレース~~	~~東北ブロック選手権~~	~~山形県酒田市~~
6	30	JTU社員総会		東京都港区高輪
7	2	U19/U23日本選手権　スプリント	七ヶ浜大会	宮城県多賀城市
7	9	第2回ジュニアトライアスロン教室	普及活動	福島県坂下町　ひがし公園
7	16	秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会	東北県別対抗戦	秋田県にかほ市
7	17	第5回かえるの郷トライアスロン in かわうち	アクアスロン第1戦・中学校/高校選手権併催	川内村　もりたろうプール
8	11	トライアスロン体験プログラム	福島県スポーツ協会	相馬市　原釜尾浜海水浴場
8	19-24	北海道東北東京関東イーストウェストリージョン合同合宿	2023年8月/福島県猪苗代町	福島県 猪苗代町
8	26	うつくしまトライアスロンinあいづビギナー教室		猪苗代町天神浜
8	27	第25回うつくしまトライアスロンinあいづ	東北女子・男子選手権	猪苗代町、磐梯町、会津若松市
9	3	アクアスロンin矢祭大会	アクアスロン　第2戦	矢祭町　スインピア矢祭
9	10	希望の森トライアスロンinやながわ	スプリント　ビギナー、小中学生	伊達市梁川町
9	16	第15回ミニトライアスロンin会津大学		会津若松市　会津大学校内
9	23	JTU東北ブロック認定記録会福島会場		二本松大教イトマン・福島大学
10	8	燃ゆる感動かごしま国体	トライアスロン競技	天城町特設トライアスロン会場
10	15	日本トライアスロン選手権東京港大会		東京都港区
11	3	アクアスロンin郡山開成山公園	アクアスロン　シリーズ最終戦	郡山開成山プール
11	3	JTU東北ブロック協議会報告会	サーキット表彰･報告他	山形県　寒河江市
11	10-12	リージョン合同バイク強化合宿	2023/11月 福島・いわき	福島県 いわき市
12	16	FTA執行部会議		郡山市民プラザ　ビッグアイ
12	25-29	北海道東北リージョン合宿	2023年12月/福島県楢葉町	福島県楢葉町　Jヴィレッジ

2023年決算書

1. 収入の部

項　　目	本年決算額	本年予算額	増　減	摘　　要
繰越金	1,019,185	1,019,185	0	
県協会登録料	576,400	600,000	−23,600	県協会登録費用
事業費	2,230,651	1,950,000	280,651	器材使用料・県内大会主管料
福島県スポーツ協会	1,074,000	800,000	274,000	一般強化事業費、ジュニア指定
国体関係費	898,695	400,000	498,695	燃ゆる感謝かごしま国体
県総体関係費	90,000	100,000	−10,000	福島県総合体育大会実行委員会
技術委員会	39,000	50,000	−11,000	審判講習会
普及委員会	5,000	10,000	−5,000	スポーツキッズ発掘事業
女子委員会	48,820	150,000	−101,180	スイム教室参加費
東北ブロック協議会	20,000	20,000	0	認定記録会補助
寄付金等	109,700	5,000	104,700	
雑収入	75,011	5	75,006	利子、レンタルバイク費
合計	6,186,462	5,104,190	1,082,272	

2. 支出の部

項　　目	本年決算額	本年予算額	増　減	摘　　要
事務費	**2,384,860**	**2,465,000**	−80,140	
協力・負担金	177,980	180,000	−2,020	JTU・東北ブロック・県スポーツ協会
総会費	101,901	70,000	31,901	会員総会
登録費	0	15,000	−15,000	書面登録・ジュニア登録協会負担分
事業費	1,966,097	1,950,000	16,097	各事業
会議費	11,000	20,000	−9,000	理事会・執行部会議
事務局運営費	127,882	230,000	−102,118	委託費・郵送費・印刷費
委員会費	**1,375,472**	**1,525,000**	−149,528	
強化委員会	1,149,000	1,210,000	−61,000	ジュニア強化・強化選手補助等
技術委員会	77,671	70,000	7,671	審判員講習会会場準備費・会議費等
指導者養成委員会	0	45,000	−45,000	指導者講習会補助
普及委員会	49,981	50,000	−19	スポーツキッズ発掘事業
女子委員会	98,820	150,000	−51,180	
国体関係費	**1,448,615**	**600,000**	848,615	
国体関係費	549,920	600,000	−50,080	燃ゆる感謝かごしま国体
国体関係費補助	898,695	0	898,695	県からの補助金
県総体関係費	**4,000**	**100,000**	−96,000	
県総体関係費	4,000	100,000	−96,000	県総体　参加料、弁当代等
		0		
雑費	0	44,190	−44,190	
予備費	0	370,000		一般社団法人移行費用
合　　計	5,212,947	5,104,190	108,757	

項目間の流用はこれを認める

3. 収支の部

収入総額　　6,186,462　円
支出総額　　5,212,947　円
繰越金　　973,515　円

会計監査報告書

2023年福島県トライアスロン協会会計決算について
決算書及び関係領収書等を厳密に監査しました。

その結果、2023年決算報告について、帳簿並びに領収書等関係証票類に基づき監査の結果、適正に処理されていることを報告します。

2024年 1月28日

監　事　荒川 正浩 印

監　事　鹿野 英夫 印

2024年事業計画

月	日	事 業 名	内　容	場　所
2	3	FTA会員総会	事業報告他	郡山市
2	18	JTU公認審判員新規・更新講習会	第二･三種の新規および更新講習会	福島市市民会館
3		JTU東北ブロック認定記録会秋田会場		秋田県
3		スイムセッションin郡山	女子委員会	郡山開成山プール
3	2	JTU東北ブロック協議会合同会議	大会日程調整等	仙台市　秋保ホテルクレセント
4	14	技術審判委員会	審判長・審判員選任他	郡山ユラックス熱海
4・5		トライアスロンスイム練習会　計5回	女子委員会	郡山開成山プール
5		JTU東北ブロック認定記録会岩手会場		岩手県
5	19	福島シティーハーフマラソン	バイクにて後走	福島県福島市
5	19	JTU東北ブロック認定記録会山形会場		山形県
5		県内強化合宿	強化委員会	福島県楢葉町　Jヴィレッジ
5	25・26	2024春期さがえトライアスロンフェスティバル	東北トライアスロンサーキット第一戦	山形県寒河江市　グリバーさがえ
6		JTU東北ブロック認定記録会青森会場		青森県
6		第1回ジュニアトライアスロン教室	普及活動	川内村　もりたろうプール
6		JTU社員総会		東京都港区高輪
7	7	U19/U23日本選手権　スプリント	七ヶ浜大会	宮城県多賀城市
7	7	第30回みやぎ国際トライアスロン仙台ベイ七ヶ浜大会	東北トライアスロンサーキット第二戦	宮城県多賀城市
7		第2回ジュニアトライアスロン教室	普及活動	福島県坂下町　ひがし公園
7	14	2024黒獅子トライアスロンin長井	東北トライアスロンサーキット第三戦	山形県長井市
7	21	秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会	東北トライアスロンサーキット第四戦 東北県別対抗戦	秋田県にかほ市
7	21	第5回かえるの郷トライアスロン in かわうち	アクアスロン第1戦・中学校/高校選手権併催	川内村　もりたろうプール
7	28	第38回白神杯・鰺ヶ沢トライアスロン大会	東北トライアスロンサーキット第五戦	青森県鰺ヶ沢町
8	12	トライアスロン体験プログラム	福島県スポーツ協会	相馬市　原釜尾浜海水浴場
8		県内強化合宿		福島県北塩原村
8		うつくしまトライアスロンinあいづビギナー教室		猪苗代町天神浜
8		第26回うつくしまトライアスロンinあいづ	東北トライアスロンサーキット第六戦 東北女子・男子選手権	猪苗代町、磐梯町、会津若松市
9		アクアスロンin矢祭大会	アクアスロン　第2戦	矢祭町　スインピア矢祭
9		JTU東北ブロック認定記録会福島会場		福島県
9	1	釜石はまゆりトライアスロン国際大会	東北トライアスロンサーキット第七戦	岩手県釜石市
9	8	希望の森トライアスロンinやながわ	スプリント　ビギナー、小中学生	伊達市梁川町
9		第16回ミニトライアスロンin会津大学		会津若松市　会津大学校内
9	22	2024秋期さがえトライアスロンフェスティバル	東北トライアスロンサーキット第八戦	山形県寒河江市　グリバーさがえ
10	6	SAGA2024（国民スポーツ大会）	トライアスロン競技	唐津市波戸・名護屋特設会場
10		アクアスロンin郡山開成山公園	アクアスロン　シリーズ最終戦	郡山開成山プール
11		JTU東北ブロック協議会報告会	サーキット表彰･報告他	
11	17	日本トライアスロン選手権東京港大会		東京都港区
12	14	FTA執行部会議		郡山市民プラザ　ビッグアイ

2024年予算案

1. 収入の部

項　　目	本年予算額	前年決算額	増　減	摘　　要
繰越金	973,515	1,019,185	−45,670	
県協会登録料	600,000	576,400	23,600	県協会登録費用
事業費	2,000,000	2,230,651	−230,651	県内大会主管料
福島県スポーツ協会	800,000	1,074,000	−274,000	一般強化事業費、ジュニア指定
国体関係費	650,000	898,695	−248,695	燃ゆる感謝かごしま国体
県総体関係費	90,000	90,000	0	福島県総合体育大会実行委員会
技術委員会	40,000	39,000	1,000	審判講習会
普及委員会	5,000	5,000	0	スポーツキッズ発掘事業
女子委員会	50,000	48,820	1,180	スイム教室参加費
東北ブロック協議会	20,000	20,000	0	認定記録会補助
寄付金等	5,000	109,700	−104,700	
雑収入	5	75,011	−75,006	利子
合計	5,233,520	6,186,462	−952,942	

2. 支出の部

項　　目	本年予算額	前年決算額	増　減	摘　　要
事務費	**2,435,000**	**2,384,860**	50,140	
協力・負担金	180,000	177,980	2,020	JTU・東北ブロック・県体育協会
総会費	70,000	101,901	−31,901	会員総会
登録費	15,000	0	15,000	書面登録・ジュニア登録協会負担分
事業費	1,950,000	1,966,097	−16,097	各事業
会議費	20,000	11,000	9,000	理事会・執行部会議
事務局運営費	200,000	127,882	72,118	委託費・郵送費・印刷費
委員会費	**1,215,000**	**1,375,472**	−160,472	
強化委員会	1,000,000	1,149,000	−149,000	ジュニア強化・強化選手補助等
技術委員会	70,000	77,671	−7,671	審判員講習会会場準備費・会議費等
指導者養成委員会	45,000	0	45,000	指導者講習会補助
普及委員会	50,000	49,981	19	スポーツキッズ発掘事業・県別対抗戦補助
女子委員会	50,000	98,820	−48,820	
国体関係費	**1,200,000**	**1,448,615**	−248,615	
国体関係費	600,000	549,920	50,080	SAGA2024（国民スポーツ大会）
国体関係費補助	600,000	898,695	−298,695	
県総体関係費	**90,000**	**4,000**	86,000	
県総体関係費	90,000	4,000	86,000	県総体　参加料、弁当代等
		0		
雑費	43,520	0	43,520	
予備費	250,000	0		一般社団法人移行費用
合　　計	5,233,520	5,212,947	20,573	

項目間の流用はこれを認める

3. 収支の部

収入総額　　5,233,520　円
支出総額　　5,233,520　円

福島県トライアスロン協会役員名簿(2024.2.3)

		氏　名	所　属	兼務役職等
1	会長	栗城　春夫	会津トライアスロンクラブ	理事
2	副会長	蓮沼　哲哉	福島大学トライアスロン部	理事兼強化委員長
3	理事長	高濱　康	会長推薦	指導者養成委員長
4	第一副理事長	塩沼　淳一	相馬鉄人会	技術審判委員長
5	第二副理事長	菊池　日出子	会長推薦	女子委員長
6	理事	山田　文彦	福島クレージートライアスロンクラブ	メディカル委員長
7	理事	岡田　浩寿	浜通りトライアスロンクラブ	
8	理事	三浦　光雄	会長推薦	事務局長
9	理事	古山　千寿子	会長推薦	
10	理事	玉橋　昭雄	チーム・ホリック	
11	理事	石橋　智之	郡山サイクルフレンズ	普及委員長
12	理事	煙山　造	福島クレージートライアスロンクラブ	
13	理事	遠藤　隆	本宮トライアスロンクラブ	
14	理事	宮城　卓二	会長推薦	
15	理事	片野　恵仁	TRI奥久慈	
16	理事	園部　衛	チーム・ホリック	
17	理事	武田　茂樹	会津トライアスロンクラブ	
18	理事	萱森　英男	本宮トライアスロンクラブ	
19	理事	佐藤　敦	郡山サイクルフレンズ	
20	理事	五十嵐 由喜子	会長推薦	広報委員長
21	理事(新)	山田　和典	会長推薦	
22	理事(新)	阿部　有希	会長推薦	
23	理事(新)	鋤﨑　隆也	会長推薦	
24	理事(新)	遠藤　勝江	会長推薦	
	監事	荒川　正浩	チーム・ホリック	
	監事	鹿野　英夫	福島クレージートライアスロンクラブ	

（特別役員）

名誉会長	岩城　光英		
顧問	森崎　俊紘		
顧問	穂﨑　一豊		

各 種 団 体 役 員(2024.2.3)

日本トライアスロン連合	
会長	岩城　光英
JTU 北海道・東北リージョン リージョナルリーダー	蓮沼　哲哉
福島県代表社員	高濱　康
JTUパラトライアスロンHPTナショナルコーチ	菊池　日出子
JTUパラトライアスロンケアトレーナー	蓮沼　裕二

JTU東北ブロック協議会	
顧問	森崎　俊紘
副理事長(サーキット担当)	高濱　康
常任理事・強化委員長	蓮沼　哲哉
常任理事・技術審判委員長	塩沼　淳一
理事・指導者養成副委員長	菊池　日出子
理事・高校生ジュニア普及委員長	石橋　智之
理事・女子委員長	山田　真理

福島県スポーツ協会	
評議員	三浦　光雄

2023年度　委員会報告

・女子委員会　　菊池委員長

・強化委員会　　蓮沼委員長

・普及委員会　　石橋委員長

・指導者養成委員会　　高濱委員長

・技術審判委員会　　塩沼委員長

令和６年２月３日
女子員会委員長　菊池日出子

令和５年度　福島県トライアスロン協会女子委員会年間活動報告

【活動内容】

① エイジアスリート向け　スイム強化練習会（開成山しんきんプール）
4 月 13 日、20 日、5 月 18 日、25 日、6 月 1 日　木曜日　全 5 回

② 第１回オーシャンスイムクリニック
2023 年 5 月 5 日（金曜日）　薄磯海水浴場
※主催：Seaman’s life
共催：福島県トライアスロン協会女子委員会、（一社）福島県ライフセービング協会
ライフセービング競技とトライアスロン競技の普及発展、選手の発掘・育成を促し、地域住民のスポーツ機会の創出といわき市の海の有効活用から地域活性化につなげることを目的として開催。オープンウォータースイム、トライアスロンやライフセービング競技をされる方を対象としたオーシャンスイムクリニック。海での泳ぎ方、自分自身の命を守るセルレスキュー方法などのプログラムで、イベントの最後は実戦方式の模擬レースを実施した。

③ アクアスロンシリーズ戦へスタッフとして女子委員の派遣

【総括】

シーズンに入る前に海での実践トレーニングをエイジアスリートに体験してもらうため、ライフセービング協会とのコラボ企画を実施。ライフセービング競技で日本代表レベルの選手からレッスンを行って頂き、参加者には貴重な機会をつくることができた。2022 年よりエイジアスリート向けにスイム強化練習を実施しているが、継続して行うことでエイジのトップを目指す選手の増員を目指していきたい。また、裾野を広げる活動を行うことで、エリート選手を目指す選手の発掘に繋がることに期待し、今後も継続していきたい。

２０２４年２月３日

強化委員長　蓮沼　哲哉

令和５年度　強化委員会活動報告

【主な活動と結果報告】

① JTU 東北ブロック認定記録会福島会場　　９月２３日（土）　　参加者：１９名
場所：スイム：スウィン大教スイミングスクール二本松　ラン：福島大学陸上競技場

② 福島県体育協会福島県スポーツ選手育成・ジュニア選手育成事業活用による合宿・遠征

（１）	GW 強化合宿（一般）	５月　３～　６日	場所：猪苗代町
（２）	日本Ｕ１９選手権（ジュニア）	７月２２～２３日	場所：愛知県
（３）	全国高校生選手権（ジュニア）	９月１５～１７日	場所：佐賀県
（４）	国体プレ大会（一般）	９月１５～１７日	場所：佐賀県
（５）	国体直前合宿（一般）	１０月　５～　６日	場所：鹿児島県
（６）	日本選手権直前合宿（一般）	１０月　９～１３日	場所：鹿児島県
（７）	日本選手権（一般）	１０月１３～１５日	場所：東京都
（８）	冬季合宿（成人）	１２月２５～２９日	場所：福島県楢葉町
（９）	水泳強化練習会（拠点サポート）	１１月　～　２月	場所：福島市

③ 日本スプリント選手権（２０２３/仙台）　日時：7 月２日（日）
結果：男子：長正憲武選手　3 位　　女子：齋藤椛凛選手　12 位

④ 日本 U19 選手権（２０２３/長良川）　日時：７月２３日（日）
結果：齋藤椛凛選手（福島県立福島西高等学校）８位

⑤ 全国高校生選手権（２０２３/唐津）日時：　９月２４日（日）　中止

⑥ 燃ゆる感動かごしま国体　日時：１０月８日（日）場所：鹿児島県天城町特設トライアスロン会場
男子：　長正憲武選手 67 位　　阿部有希選手 DNF
女子：　菅家成美選手 20 位　　冨士川怜奈選手 74 位

⑦ 第２７回日本選手権兼 U23 選手権（２０２２/宮崎）　日時：１０月９日（日）場所：東京都お台場
結果　男子：阿部有希選手　17 位　長正憲武選手　DNS
女子：齋藤椛凛選手　19 位、菅家成美（学連）DNF

《報告》

今年は、コロナ後、例年並みにレースが開催された。本県選手も全国へ積極的に参加した。シーズン前半長正選手が日本スプリント選手権で 3 位表彰台となり、幸先の良いスタートを切った。しかし、その後、大会のキャンセルなどもあり、目立った成績を上げることができなかった。特に国体においては、男子 2 名の入賞を目指したが、思うような結果を出せなかった。その中でも、今回初出場の菅家選手の 20 位は、次につながる結果であり、良いレース展開であった。今年も県スポーツ協会からの強化費等を、大会、合宿、機材購入など有効に活用させていただき強化活動ができた。また、次年度は、齋藤椛凛選手が大学生となり、本格的にエリートでの戦いになるので、継続した強化に努めていきたい。

課題としては、中学生、高校生の選手が男女ともほとんどいないため発掘は急務である。大会参加からの発掘や他競技団体からのトランスファーも含めて取り組んでいかなければならない状況である。

最後に、阿部有希選手が今年の日本選手権を最後に第一線から退くことになった。高校生時代から日本選手権に出場し、東京オリンピック出場を目指し、ワールドカップ出場を果たし、本県のトライアスロン界をリードしてきた。今後もトライアスロン業界に関わっていくようなので、サポート側として、協力をお願いしたいと思う。そして、次年度も本県強化のために多くの方々のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

福島県トライアスロン協会　　令 和 6 年 2 月 3 日

普及委員長　石橋　智之

令和５年度　普及委員会活動報告

【主な活動内容】

≪ふくしまスポーツキッズ発掘事業「体験プログラム」の開催≫

日時：令和５年８月 11 日（祝）

会場：相馬市原釜尾浜海水浴場

指導者：蓮沼哲哉、菊池日出子、長正憲武（福島県協会）

サポート：福島県協会役員（５名）、

福島大学トライアスロン部員（４名）

参加人数：　２６名　（男子 20 名、女子６名）

指導内容		
導入	**9:00～9:50** **・ビーチクリーン** **・準備体操** **・ランニング及び走り方のドリル**	
スイム	**10：00:～10：50** **・オープンウォーター（OWS）の注意点** **・スイムレベルの確認** **・OWS の特性について** **・トップアスリートの模範を見る** **・OWS を意識した実践練習**	
実践練習（アクアスロン）	**11:00～11:30** **・水際での技術（入水、スイムアップ）** **・トランジション練習** **・実践①（アクアスロン）：個人レース** **・実践②（アクアスロン）：チームレース** **11:30～11:40・挨拶・閉会** **11:40～12:00・自由遊泳（スタッフ監視）**	

≪まとめ≫

昨年度に続き、海でのオープンウォータースイムによる体験プログラムを実施した。今回は、26名の参加があり、昨年を大幅に上回る参加者となった。指導者は、日本代表選手を指導する蓮沼哲哉、菊池日出子の両コーチに加え、現在、プロトライアスリートとして活躍する本県出身の長正憲武選手や、福島大学トライアスロン部の選手のサポートを受けるなど、手厚い講師陣のもと、雄大な自然の中で、安全に楽しみながら体験プログラムを開催することがでた。海で泳ぐのは初めてという子も多かったが、直ぐに慣れ、元気一杯に泳ぐ姿が見られた。最後には、アクアスロンレースを体験し、競技としての楽しさや醍醐味を思う存分体感していただけたと感じている。

福島県トライアスロン協会　指導者養成委員会　**2023 活動等報告・2024 計画案**

［活　動　等　報　告］　(2023)

1）『ビギナートライアスロン教室』2023.8.26[土]　**15 名参加**
（うつくしまあいづトライアスロン大会前日）
メイン講師：遠藤　　隆（理事・普及委員長）
サブ　講師：石橋　智之　（理事・指導者養成委員）

・大会自体についての説明を事前準備
・変更点や留意点などを主に説明
・個別質疑への対応

2）指導者養成研修参加の一部助成（2023 年申請実績なし）※青森指導者研修告知

［活　動　等　計　画　案］　(2024～)

●指導者養成委員会
競技人口の拡大
競技自体の普及啓発　⇒①指導者研修への受講促進（指導者増員の必要性）※女性重点
②養成に関する情報共有化※パラトライアスロンに対する理解等
③養成研修会の地区開催等（要検討）

≪参　考≫　活動等計画及計画案一覧

部門	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
指導者 養　成	・指導者講習会受講促進 ・指導者間情報共有化 ・研修会参加助成の継続	・指導者数増策検討 ・研修会参加助成制度の継続		
教室等 開　催	・開催要請等により連携実施 （ビギナー教室）強化委員会 （スポーツキッズ）普及委員会	・ビギナー教室講師（分担）※強化及び普及委員会連携 （うつくしまあいづ大会前日） ・その他普及教室等サポート		
成　果 及　び 評　価	★指導者数（県協会登録者） 日本体育協会公認指導者[6] 初級指導者[６] 中級指導者[１]　　合計 13 名	・指導者資格保有者 の増員（各地区別等均等化）		

協会関係各位
協会会員各位

福島県トライアスロン協会
副理事長兼技術審判委員長 塩沼 淳一

令和5年 技術審判委員会年間活動報告

2月26 日　2023JTU 公認第2 種・第3 種審判員新規・更新講習会
会場・・・福島市市民会館
第2種新規受講者・・0 名 第2 種更新受講者・・0 名
第3 種新規受講者・・2 名 第3 種更新受講者・・4 名

第3種新規・更新講習会風景写真

4月 9 日　午前：2023JTU 公認第2 種審判員新規・更新講習会
午後：技術審判委員会会議（会議出席での審判資格更新を可能とする）
会場・・・郡山ユラックス熱海
午前：第2種新規受講者・・3 名 第2 種更新受講者・・2 名
午後：会議出席者・・14 名（第2 種更新者・・1 名 第3 種更新者・・1 名）

午前：第2種新規更新講習会風景写真

4月23日 2023JTU公認審判員第3種新規・更新講習会
会場・・・郡山ループサイクル
第3種新規受講者・・4名 第3種更新受講者・・3名

受講者集合写真

7月17日 第5回かえるの郷トライアスロンinかわうち
会場・・・川内村室内型村民プールとその周辺
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員19名参加（審判参加で第３種の方1名更新）

8月27日 第25回うつくしまトライアスロンinあいづ
会場・・・猪苗代湖天神浜から会津大学とその周辺
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員16名 県外協会審判員27名、総勢43名でレース進行
（審判参加で第3種の方１名更新）

9月3日 アクアスロン矢祭大会
会場・・・スインピア矢祭とその周辺
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員10名参加

9月10日 2023希望の森トライアスロンinやながわ
会場・・・伊達市梁川プールとその周辺
新型コロナウィルスが５類となり4シーズンぶりにコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員15名参加（審判参加で第２種の方１名更新）

9月16日 第15回ミニトライアスロンin会津大学
会場・・・会津大学
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員６名参加

9月23日 JTU認定記録会東北ブロック福島会場
会場・・・スイム：スウィン大教スイミングスクール二本松
ラン：福島大学陸上競技場
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員3名 県外協会審判員２名、総勢５名参加

11月3日 アクアスロンinこおりやま開成山公園
会場・・・スイム：郡山しんきん開成山プール
ラン：郡山ヒロセ開成山陸上競技場
新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境で開催
福島県協会審判員12名参加

総括　2023年シーズンは新型コロナウィルスが５類となったこともあり、東北各地の大会はコロナ前に近い環境で再開され、新規で開催される大会もあった。
県内でも4シーズンぶりに「希望の森トライアスロンinやながわ」が再開され、6大会と1回の記録会が行われた。
ただ2023年シーズンは危険な暑さが続いたため、開催された大会では暑さを考慮して距離を短くして開催した大会もあった。
県内大会は幸いにも暑さの影響をうけずに開催することができた。
2024シーズンも危険な暑さが続くようであればいつも以上の暑さ対策を行って安心して楽しめる大会を開催しなければならないと思う。
審判資格の新規開拓や更新については、２月の定期講習会の他に、受講者の希望する日程での新規取得、更新や、技術審判委員会会議出席による更新、大会参加による更新など、複数の新規取得更新機会を利用して頂き、2月に第3種が2名、4月に第3種が4名、第2種が3名の方々に取得して頂き更新については2月に第3種が4名、4月に第3種が4名、第2種が3名と、大会への審判参加による更新で第3種が2名、第2種が1名の方々に更新頂いた。
今後も複数の新規取得、更新機会を設け、より多くの方々に新規取得、更新を行ってもらえるようにする。
第１種の新規取得については、過去２年間での３大会の大会レポートと、400字程度の決意表明文の提出を選考基準としていて、コロナ禍の頃はなかなか難しかったが、新型コロナウィルスが５類となりコロナ前に近い環境になったことから、コロナ以前のように資格取得を推進していきたい。
2013年から続けてきた普通救命講習会も新型コロナウィルスの影響で中止が続いてきたが、同様にコロナ前に近い環境になってきたことから、救急救命士の方と相談のうえ、開催できればと思う。

以上

福島県トライアスロン競技
燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会出場報告

競　技　名	トライアスロン	種別	成年女子
氏　名 （所　属）	フリガナ　フジカワレナ 冨士川　怜奈 （　かねこクリニック　）	大会日 会　場	10月８日(日) 天城町特設コース（鹿児島県）

競技成績概要経過

○成績

スイム	1.5km	25分 31秒
バイク	42.8km	1時間 26分 23秒
ラ　ン	10.7km	1時間　5分　3秒
総　合	55.0km	2時間 58分 51秒　74位

○経過等説明

当日、朝8時からのスタートで雨予報だった天気も晴れ気持ちよくスタートに立つことができました。

４年ぶりのODで不安もありつつ、完走することを目標に頑張ろうとスタートしました。

Swimは波も穏やかで水温も高く自分のペースで淡々と泳ぎ切ることができて、真ん中の40番くらいで上がることができました。

バイクをスタートしてから最初の登り坂で７人くらいのパックになり、このまま集団で走り切りたいと思って乗っていました。ですが、2周目の登り坂からどんどん置いて行かれて全く力が入らず、単独走となりとても長くて辛いバイクになってしまいました。

なんとか8周乗り切って、ランに入る時には周りには選手もほとんどいなくなってしまいました。

ランはバイクのコースを2周回ということで、気持ちに負けず、淡々と走り切ることだけを考えて走りました。

スピードをあげることもできず、ただただ走るだけになってしまいましたが、目標としていた完走することは達成できたので安心しています。

○反省点、課題等の抽出

Bikeもrunも十分な距離を積めなかったことが１番の反省点かと思います。

○課題等に対する対策

置かれている環境でその日にできることを計画的にコツコツと練習を積めるようにしていきたいです。

また、体調管理を怠らないように気をつけていきたいです。

次年度以降目標等

○目標（具体的に）

来年もトライアスロンの大会に出場できるように練習すること。

○その他（要望等）

福島県トライアスロン競技
燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会出場報告

競　技　名	トライアスロン	種別	成年男子
氏　名 （所　属）	フリガナ　アベユウキ 阿部　有希 （　福島県トライアスロン協会　）	大会日 会　場	10月８日(日) 天城町特設コース（鹿児島県）

競技成績概要経過

○成績

スイム	1.5km	19分 56秒
バイク	42.8km	
ラ　ン	10.7km	
総　合	55.0km	DNF

○経過等説明

国体のルール上スイムが２列スタートということで、私は２列目からのスタートとなったが、それが功を奏してスイム中の分岐で空いているルートを選びながら泳ぐことができた。
その結果いい位置で上がることができた。
また現地に着いてから体調を崩してしまっていたこともあり、バイク中は終始苦しい展開であった。
良くない体調と暑さで体力が削られ、情けなくもバイクの最終周でリタイアという結果で終わった。

○反省点、課題等の抽出

身の回りの環境が変わり、その忙しさから体調を崩すことがないよう精一杯注力してきたつもりだったが、結果的にレース２日前に体調を崩してしまった。
今年結果を狙っていたビッグレースだっただけに非常に悔しく思う。

○課題等に対する対策

仕事から解放された一時的な緊張感の解けが原因と考えられるため、今後は緊張感をレースへ向けて上手く繋げられるよう訓練が必要だと感じた。

次年度以降目標等

○目標（具体的に）

今年で選手として引退を宣言していたため、国体で有終の美を飾りたかった。
しかし蓋を開けると不甲斐ない結果に終わってしまったため、福島県に貢献できなかった悔しさと共に後悔が残る遠征となった。
一度引退してしまったが、数年後また復帰してもし代表に選んでいただいた際はしっかりと雪辱を果たしたい。

○その他（要望等）

福島県トライアスロン競技
燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会出場報告

競　技　名	トライアスロン	種別	成年女子
氏　名 （所　属）	フリガナ　カンケナルミ 菅家　成美 （　東京家政大学　）	大会日 会　場	10月８日(日) 天城町特設コース（鹿児島県）

競技成績概要経過

○成績

スイム	1.5km	22分 09秒
バイク	42.8km	1時間 12分 56秒
ラ　ン	10.7km	48分 31秒
総　合	55.0km	2時間 25分 28秒　20位

○経過等説明

　初めてのエリートレースでしたが、多くの方々の応援や支えがあって無事ゴールすることができました。

　得意のスイムでは思っていた順位で上がることができませんでしたが、課題であったバイクでのパックにくらいつくことができ、うまくランに繋げることができました。

　起伏が激しく苦しいコースで心が折れそうになりながらも多くの声援のおかげで諦めずに最後まで力を出し切ることができました。

　自分の強みである粘りのランでしっかり順位を上げて笑顔でゴールすることができ、満足のレースになりました。

○反省点、課題等の抽出

　スイムではトップ集団についていけるように周りの状況をよく感じて適切なコース判断をできるようにしたいです。

　バイクは3種目で一番伸びしろがあるため特に強化をして武器にできるようにしたいです。

　トランジッションに時間をかけてしまうことも課題だと感じました。

○課題等に対する対策

　バイク練習を多くし、バイクに乗る時間、距離を増やしたいです。

　3種目の練習はもちろんですが種目の移り変わりなどのテクニック練習を取り入れ、スムーズな種目切り替えができるようにしたいです。

次年度以降目標等

○目標（具体的に）

　今後国体では点数で福島県に貢献できる選手になりたいです。そして、福島県が皇后杯、天皇杯の獲得を目標に頑張りたいです。

　また、日本学生トライアスロン選手権、日本トライアスロン選手権で入賞できる選手になることを目標に日々の練習に励みたいです。

○その他（要望等）

　大会で自分の力を十分に発揮できるためのサポートに感謝申し上げます。

　福島県のチームの一員として戦うことができて光栄でした。SNSを積極的に使っていただいたことで私自身も励みになりましたし、多くの方々に見ていただくことができました。

　これからも積極的に使用していただけると嬉しいです。ありがとうございました。

福島県トライアスロン競技
燃ゆる感動かごしま特別国民体育大会出場報告

競　技　名	トライアスロン	種別	成年男子
氏　名 （所　属）	フリガナ　　ナガショウノリタケ 長正　憲武 （　福島県トライアスロン協会　）	大会日 会　場	10月８日(日) 天城町特設コース（鹿児島県）

競技成績概要経過

○成績

スイム	1.5km	20分 10秒
バイク	42.8km	1時間 14分 18秒
ラ　ン	10.7km	57分 21秒
総　合	55.0km	2時間 33分 37秒　67位

○経過等説明

今大会に出場するにあたり、私は最大目標3位以内と最低限目標8位以内という2つの目標を設定して臨んだ。また、今大会をもってしばらくの間福島県代表として国体に出場しない方向のため、これまで様々なサポートをしてくださった福島県に対し、結果で恩返しをしたいという特別な思いも持って大会に参加した。

結果は67位であった。今年8月頃から苦しまされていた自律神経失調により、バイクスタート直後から強い全身の脱力感に襲われ、何もできないまま完走するのが精一杯の状況だった。

○反省点、課題等の抽出

反省点は大きく分けて２つある。まず1つ目は、バイク・ランのパフォーマンスだ。

病気による影響であり、一度発症してしまうと元に戻すことができた経験がないが、もっと冷静に状況を把握するべきだったと感じた。

何もなかったスイム直後に急に身体が動かなくなったため、焦りで何も考えることができなくなり、体調が悪化する一方であった。一度落ち着かせる余裕を持てれば、ほんのわずかでも回復させられたのではと思うと悔やまれる。

2つ目はスタートまでの準備だ。徳之島が高温多湿の気候であることは把握していたが、予想以上に蒸し暑く感じ、暑熱馴化が十分でなかった。暑さが自律神経に悪影響を及ぼすことはわかっていたため、暑さ対策を万全にしておくべきであった。また、宿舎などの生活環境が悪く、精神的ストレスを多く溜め込んでしまった。

○課題等に対する対策

これから海外遠征を多くこなすことを考えると、日本のような衛生水準の高い国はほとんどないため、あらゆる環境にも対応できるようにしておく必要がある。

レース前にストレスを溜め込まないためにも、神経質になりすぎることはデメリットでしかないと感じた。ちょっとしたストレスの捌け口を持っておくことも、対策としては必要であると思う。

次年度以降目標等

○目標（具体的に）

このような結果となってしまい、本当に申し訳ない思いでいっぱいであるが、この悔しさは必ず結果で晴らせたいと思う。しばらくの間福島県代表として国体（国スポ）に出場しない可能性があるが、その後は福島県代表に復帰し、優勝という形で改めて恩返しがしたい。また、来シーズン以降のレースでも、良い結果を残すことで復活を示すと共に明るい話題を届けたい。

○その他（要望等）